

平成 28 年 10 月 7 日
株式会社 愛知銀行

愛銀リース株式会社及び三菱UFJリース株式会社との
「地方創生に関する包括連携協定書」の締結について

株式会社愛知銀行(頭取 矢澤 勝幸)は、愛銀リース株式会社(代表取締役 光崎 隆士)及び三菱UFJリース株式会社(代表取締役社長 白石 正)と「地方創生に関する包括連携協定書」を締結しましたのでお知らせします。

本協定書の締結により、当行グループが保有する自治体や地元企業との密接なネットワークに、三菱UFJリース株式会社及びその関連会社等が保有する知見を融合させ、官民一体となった地方創生の取組の加速化及び地域経済の活性化を目指すものです。

当行は今後も、地域金融機関として地域経済の活性化をはじめ、「まち・ひと・しごと」の各分野において、地域の地方創生に関する取り組みに貢献してまいります。

記

| | |
|---------|---|
| 連携協定の骨子 | 3 者が連携し、愛知県内の自治体に対し地域経済活性化のための以下の取組提案を行う。 (1)地域産業の競争力強化 (2)地方移住の推進 (3)都市のコンパクト化と周辺のネットワーク形成 (4)既存ストックのマネジメント強化 (5)その他地方創生につながる内容全般 |
| 具体的取組内容 | 地域固有の各種課題やニーズ、地域資源を背景とする以下のテーマについて、具体的なビジネスプランを策定し、官民一体となった取組提案を行い、その実現を目指す。 (1)「地域連携・移住(日本版CCRC)」 (2)「既存ストックのマネジメント強化(集約化・複合化・転用)」 (3)「農業(廃校の有効活用等)」 日本版CCRC構想・・・「Continuing Care Retirement Community」の略で、東京圏をはじめとする地域の高齢者が地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康な生活を送り、必要に応じ医療・介護も受けられることができるような地域づくりを目指すもの。 |
| 締結日 | 平成 28 年 9 月 30 日(金) |

以上